

東京・表参道に本社移転

CJKK メディカル 開発交流を活発化



【千葉】CJKKメデ区、河野淳一社長）イカルラボ（東京都港）は、本社を茨城県常総市から東京

・表参道に移転して27日に業務を始める。利便性の良い立地を生かし、医師ら国内外の関係者と社内をつなげる環境をつくり、へた。3階にはコミュニケーションを円滑にする

野に必要なBツーク（対消費者）のノウハウを吸収する狙いだ。これによりイノベーションにつなげ、ヘルスケア商品開発を加速する。

新本社は東京メトロ表参道駅から徒歩1分。3階建てで延べ床面積は約180平方

メートル。1階を入りやすいカフェにし、2階をオフィスと会議室にし

た。3階にはコミュニケーションを円滑にする

新オフィスで社員と打ち合わせする河野社長（右から3人目）

るため、シミュレーションゴルフを設けた。芸術家の作品発表やコンサート開催、スタートアップによる事業内容の説明などができ、「いろいろな人をつなぐ場」（河野社長）としても活用する。

医療機器を開発するグループ会社の河野製作所（千葉県市川市）は、社内のつながりを強固にしてイノベーションを起こすため、2022年に米IT大手4社「GAF A」をモデルに東京本社を移転

・拡張。今回の社外とのつながりを強くする取り組みとのシナジーも狙う。

新オフィスで社員と打ち合わせする河野社長（右から3人目）

るため、シミュレーションゴルフを設けた。芸術家の作品発表やコンサート開催、スタートアップによる事業内容の説明などができ、「いろいろな人をつなぐ場」（河野社長）としても活用する。

医療機器を開発するグループ会社の河野製作所（千葉県市川市）は、社内のつながりを強固にしてイノベーションを起こすため、2022年に米IT大手4社「GAF A」をモデルに東京本社を移転

・拡張。今回の社外とのつながりを強くする取り組みとのシナジーも狙う。

るため、シミュレーションゴルフを設けた。芸術家の作品発表やコンサート開催、スタートアップによる事業内容の説明などができ、「いろいろな人をつなぐ場」（河野社長）としても活用する。

医療機器を開発するグループ会社の河野製作所（千葉県市川市）は、社内のつながりを強固にしてイノベーションを起こすため、2022年に米IT大手4社「GAF A」をモデルに東京本社を移転

・拡張。今回の社外とのつながりを強くする取り組みとのシナジーも狙う。